

編	集	後	記
---	---	---	---

- ☆ レファレンスとは何かということとは絶えずわれわれの問題であり、その原理的な面について一度本誌でも特集としてとりあげたい希望をもっているが、今回は亜細亜大図書館の毛利氏から非常に興味深い報告を頂いたほか、当館の北川氏の各館所蔵参考図書目録の研究もこの問題について大いに参考になるものと思われる。
- ☆ 書誌については国学院大学山下氏、当館の森崎氏及び広瀬氏からそれぞれ貴重な研究を頂いた。北川氏のものもそうであるが、書誌・目録の類は一般の論文とちがいが書名の羅列に終わりやすいので、本誌のような雑誌には掲載が躊躇されるが、本号のものはいずれも研究論文として通読しても興味があり、レファレンスの参考にもして頂けると思う。これらについて御意見をおよせ頂ければ幸いである。
- ☆ 前号まで仏英米その他の総合目録について紹介してきたが、さらにドイツのものを紹介してほしいという希望もあり、これはすでに原稿も頂いているので、次号に掲載できるはずである。
- ☆ 当館の展示会は今年も当参考書誌部の担当で名家自筆本を展示し、2,261名の入場者があり好評であった（次号に小特集を計画中）。なお特殊コレクションは一応調査が終わり、現在整理の段階にあるので、紹介は前号で打ち切った。
- ☆ 総需要抑制のあおりで、本誌も予算が減り、果してどうなるかと思っていたが、さいわい10号も無事出て、次号の原稿も順調に集まっており、年度内には出せる見込みである。(安 積)

参考書誌研究 第10号 昭和49年11月30日発行

---

編 集 国立国会図書館参考書誌部  
発 行 国 立 国 会 図 書 館  
東京都千代田区永田町1の10の1 (郵 100)  
電 話 581—2331 (代)  
印 刷 株式会社 第 一 印 刷

---

本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜すいして転載されるばあいには、事前に参考書誌部一般参考課へ連絡してください。